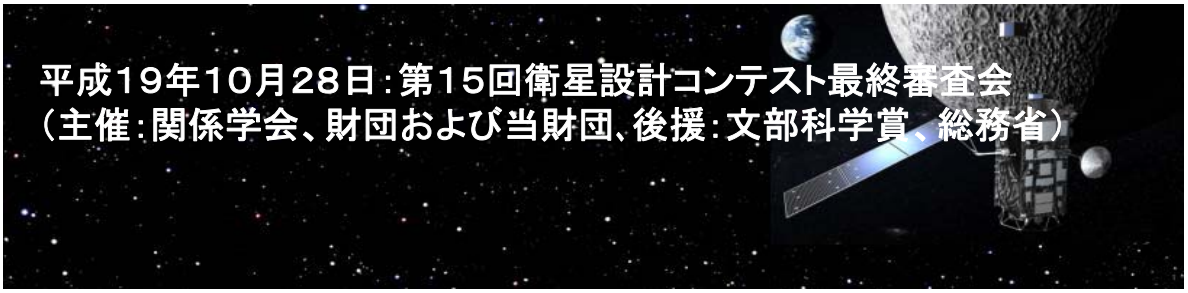
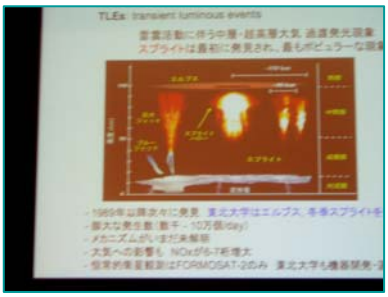


全国の大學、高等専門学校および高校から応募された人工衛星の設計・アイデアを競う「衛星設計コンテスト」の最終審査会は、今年は15回を迎えました。10月28日（日）に東京都千代田区の一橋記念講堂で開かれ。会場には100名を越す参加者があつまり、新しい衛星の設計や、アイデアについて熱気にみちた発表と質疑が行われました。
次いで、ISAS／JAXAの加藤教授から、「月はどう生まれ、同素だったか」と題して「打ち上げられたばかりの月探査機「かぐや」について、その詳細と意義、今後の展望に付いてのホットな講演が有り、聴衆を魅惑の世界にさそってくれました。

最終審査の結果、今年度設計大賞は
名古屋大学工学部大学院、高塚直樹君他6名の「宇宙ほたる」へ、
アイデア大賞は津山高等専門学校、三浦陽彦君他8名の「金星大気の空力加熱測定惑星」
へ、また優秀作品に各学会からの賞が送られました。